

4 個別の事務事業評価シート（概要）

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						23年度	24年度	25年度	26年度
1	生徒指導の充実	青少年課	その他	○事業開始年度 平成4年度 【概要】 教職員の生徒指導力の向上を図るとともに、児童生徒の「いじめ防止」の啓発事業として、毎年5月25日から6月25日の1ヶ月間、いじめ防止啓発強調月間(ニコニコ月間)を設定し、「いじめ」について考える週間の実施やポスター・標語への取組などを行っている。 【対象者】 教職員、児童生徒 【具体的な活動内容】 いじめ防止啓発強調月間作品募集や市生徒指導関係研修会、専門の講師を学校に派遣する講師派遣事業等の実施	市単	[概算コスト] 5,228 (内訳) ・決算額 2,693 ・人件費 2,535 (0.32人)	[概算コスト] 4,973 (内訳) ・決算額 2,461 ・人件費 2,512 (0.32人)	[概算コスト] 4,950 (内訳) ・決算額 2,462 ・人件費 2,488 (0.32人)	[概算コスト] 5,057 (内訳) ・予算額 2,580 ・人件費 2,477 (0.32人)
2	不登校児童生徒支援事業	青少年課	相談	○事業開始年度 平成2年度 【概要】 適応指導教室を設置し、不登校児童生徒への支援と、保護者などの相談に応じる。 【対象者】 小・中学生、保護者、教職員 【具体的な活動内容】 ・適応指導教室での集団再適応、自立を援助する学習・訓練 ・適応指導教室での学習・生活指導 ・適応指導教室での保護者に対する相談活動 ・学習支援員の訪問学習指導及び相談活動 ・年2回(7月、11月)の在籍校との適応指導教室連絡会	市単	[概算コスト] 22,833 (内訳) ・決算額 20,931 ・人件費 1,902 (0.24人)	[概算コスト] 22,922 (内訳) ・決算額 21,038 ・人件費 1,884 (0.24人)	[概算コスト] 23,060 (内訳) ・決算額 21,194 ・人件費 1,866 (0.24人)	[概算コスト] 29,643 (内訳) ・予算額 27,785 ・人件費 1,858 (0.24人)
3	臨床心理相談員活用事業	青少年課	相談	○事業開始年度 平成25年度 【概要】 適応指導教室に臨床心理士の資格を持つ臨床心理相談員を配置し、専門性を必要とする教育相談や心理検査、カウンセリングを行う。 【対象者】 小・中学生、保護者、教職員 【具体的な活動内容】 ・児童生徒・保護者への専門性を必要とする教育相談や心理検査 ・学校事故等、緊急時における児童生徒、保護者へのカウンセリング ・適応指導教室での不登校児童生徒に対するソーシャルスキルトレーニング ・不登校児童生徒及び保護者に対するカウンセリング ・処遇困難なケースの教職員・相談員等に対する指導・助言	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 (0.00人)	[概算コスト] 16,968 (内訳) ・決算額 15,102 ・人件費 1,866 (0.24人)	[概算コスト] 17,196 (内訳) ・予算額 15,338 ・人件費 1,858 (0.24人)
4	スクールソーシャルワーカー活用事業	青少年課	相談	○事業開始年度 平成20年度 【概要】 いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など児童生徒の問題行動等の背景にある家庭や友人関係、地域、学校などの環境への働きかけを行う。 【対象者】 児童生徒、教職員、保護者、関係機関 【具体的な活動内容】 ・問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ ・関係機関とのネットワークの構築、連携・調整 ・学校内におけるチーム体制の構築、支援 ・保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供 ・教職員等への研修活動	国補助	[概算コスト] 7,079 (内訳) ・決算額 6,445 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 7,173 (内訳) ・決算額 6,545 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 7,954 (内訳) ・決算額 7,332 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 8,712 (内訳) ・予算額 8,093 ・人件費 619 (0.08人)
5	心のパートナー派遣事業	青少年課	相談	○事業開始年度 平成21年度 【概要】 教職や心理学を学んでいる大学生や大学院生を適応指導教室や要請のあった学校に派遣し、適応指導教室通級生及び保健室や別室登校の児童生徒への学習やスポーツ活動等の支援を行う。 【対象者】 不登校及び不登校傾向の小・中学生 【具体的な活動内容】 ・適応指導教室通級生の学習支援やスポーツ活動の支援 ・適応指導教室通級生の相談相手や話相手 ・適応指導教室での文化施設等を利用した活動の支援 ・要請学校の保健室や別室登校の児童生徒への学習支援 ・要請学校の保健室や別室登校の児童生徒への相談相手	市単	[概算コスト] 1,841 (内訳) ・決算額 1,207 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 1,706 (内訳) ・決算額 1,078 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 1,792 (内訳) ・決算額 1,170 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 2,132 (内訳) ・予算額 1,513 ・人件費 619 (0.08人)
6	児童生徒に関する事故等調査委員会	青少年課	調査・研究	○事業開始年度 平成25年度 【概要】 大学教授、弁護士、臨床心理士、教育関係者の6人に委員を委嘱し、事故が発生した際の対応・調査の在り方について検討するとともに、実際に重大な事故が発生した場合は、事故の背景等について調査を行う。 【対象者】 委員6人 【具体的な活動内容】 年2回の定例の委員会を開催し、調査の在り方等について検討する。実際に重大な事故が発生した場合には、緊急に委員会を開催し、調査を行う。	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 (0.00人)	[概算コスト] 716 (内訳) ・決算額 94 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 745 (内訳) ・予算額 126 ・人件費 619 (0.08人)

【評価区分】

A:継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
 B:見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
 C:統合 事業の統合を検討すべき
 D:縮小 事業規模を縮小する必要がある

E:休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
 F:廃止 制度自体を廃止すべき
 G:終了 事業の終りに合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度			
いじめ防止啓発強調月間作品募集回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	作品展出品数 (単位:点)	[目標値] 51,525 [実績値] 58,213 〈達成率〉 113.0%	[目標値] 51,091 [実績値] 56,150 〈達成率〉 109.9%	[目標値] 51,081 [実績値] 55,207 〈達成率〉 108.1%	[目標値] 51,018	A	A	継続 (理由) いじめ防止対策推進法が成立するとともに、生徒指導に関する問題が多様化及び複雑化する中で、教職員の資質向上を図るため、必要な事業である。
適応指導相談員数 (単位:人)	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 8	適応指導教室通級率 (単位:%)	[目標値] 19 [実績値] 19 〈達成率〉 99.5%	[目標値] 19 [実績値] 21 〈達成率〉 111.7%	[目標値] 19 [実績値] 20 〈達成率〉 104.3%	[目標値] 19	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(9ページ)参照
臨床心理相談員数 (単位:人)	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5	臨床相談員相談件数 (単位:件)	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 2,149 [実績値] 2,149 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2,149	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(10ページ)参照
スクールソーシャルワーカー数 (単位:人)	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4	対応児童生徒数 (単位:人)	[目標値] 57 [実績値] 46 〈達成率〉 80.7%	[目標値] 55 [実績値] 94 〈達成率〉 170.9%	[目標値] 62 [実績値] 118 〈達成率〉 190.3%	[目標値] 77	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(11ページ)参照
心のパートナー登録者数 (単位:人)	[目標値] 45 [実績値] 63 〈達成率〉 140.0%	[目標値] 45 [実績値] 76 〈達成率〉 168.9%	[目標値] 45 [実績値] 54 〈達成率〉 120.0%	[目標値] 45	適応指導教室・学校派遣回数 (単位:回)	[目標値] 623 [実績値] 591 〈達成率〉 94.9%	[目標値] 612 [実績値] 495 〈達成率〉 80.9%	[目標値] 583 [実績値] 523 〈達成率〉 89.7%	[目標値] 571	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(12ページ)参照
定例委員会の開催回数 (単位:回)	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2	重大事故発生時の迅速な対応	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(13ページ)参照

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						23年度	24年度	25年度	26年度
7	学校保健活動の充実	保健体育課	助成・育成	○事業開始年度 昭和55年度 【概要】 学校・地域社会・医療機関等と連携を図りながら、学校保健活動を推進するために、市学校保健会へ助成する。 【対象者】 児童生徒 【具体的な活動内容】 ・市学校保健フォーラムの開催 ・地区学校保健研究協議会の開催 ・学校保健優良学校等の表彰	市単	[概算コスト] 4,362 (内訳) ・決算額 2,936 ・人件費 1,426 (0.18人)	[概算コスト] 4,343 (内訳) ・決算額 2,930 ・人件費 1,413 (0.18人)	[概算コスト] 4,330 (内訳) ・決算額 2,930 ・人件費 1,400 (0.18人)	[概算コスト] 4,323 (内訳) ・予算額 2,930 ・人件費 1,393 (0.18人)
8	性教育推進事業	保健体育課	その他	○事業開始年度 平成16年度 【概要】 小・中・高等学校の性に関する指導の充実を図るため、産婦人科・泌尿器科の医師や助産師等を講師として派遣し、性に関する講演会等を実施する。 【対象者】 児童生徒・教職員・保護者 【具体的な活動内容】 産婦人科・泌尿器科の医師や助産師等を派遣した講演会等の実施	市単	[概算コスト] 1,963 (内訳) ・決算額 854 ・人件費 1,109 (0.14人)	[概算コスト] 1,953 (内訳) ・決算額 854 ・人件費 1,099 (0.14人)	[概算コスト] 1,943 (内訳) ・決算額 854 ・人件費 1,089 (0.14人)	[概算コスト] 1,938 (内訳) ・予算額 854 ・人件費 1,084 (0.14人)
9	学校職員安全衛生管理事業	保健体育課	その他	○事業開始年度 平成13年度 【概要】 小・中・高等学校に衛生委員会等を設置し、それぞれの学校職員数に応じて嘱託医や健康管理医を配置し、学校職員の保健管理や学校の作業環境の維持・管理について指導・助言を行う。 【対象者】 学校職員 【具体的な活動内容】 ・嘱託医、健康管理医による学校職員の健康診断の実施 ・学校の作業環境の維持管理 ・衛生委員会の開催	市単	[概算コスト] 3,813 (内訳) ・決算額 2,783 ・人件費 1,030 (0.13人)	[概算コスト] 3,638 (内訳) ・決算額 2,618 ・人件費 1,020 (0.13人)	[概算コスト] 3,573 (内訳) ・決算額 2,562 ・人件費 1,011 (0.13人)	[概算コスト] 4,588 (内訳) ・予算額 3,582 ・人件費 1,006 (0.13人)
10	学校給食活動の充実	保健体育課	助成・育成	○事業開始年度 昭和45年度 【概要】 学校給食の充実を図り、学校給食の運営及び食生活に関する諸課題を調査研究するために、市学校給食協議会へ助成する。 【対象者】 児童生徒 【具体的な活動内容】 ・学校給食及び食生活に関する調査研究 ・学校給食作文募集 ・学校給食研究誌の発行	市単	[概算コスト] 1,785 (内訳) ・決算額 200 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 1,685 (内訳) ・決算額 115 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 1,755 (内訳) ・決算額 200 ・人件費 1,555 (0.20人)	[概算コスト] 1,748 (内訳) ・予算額 200 ・人件費 1,548 (0.20人)
11	九州都市中学生交流大会派遣事業	青少年課	助成・育成	○事業開始年度 平成5年度 【概要】 九州各都市の中学生が一堂に会する交流大会を開催し、野外での体験活動等の交流活動を通して、豊かな人間関係づくりや次代を担う青少年としての資質を育成するとともに、九州各都市の相互交流・交歓の充実を図る。 また、各市の中学生が開催市の自然、文化、歴史などに触れる各種の体験活動を通して理解を深める。 【対象者】 中学校2年生 【具体的な活動内容】 4都市(鹿児島、熊本、宮崎、大分)の中学校2年生(約160人)、指導者(約40人)が、青少年教育施設等で、各種の体験活動を行う。	市単	[概算コスト] 2,559 (内訳) ・決算額 1,212 ・人件費 1,347 (0.17人)	[概算コスト] 2,570 (内訳) ・決算額 1,236 ・人件費 1,334 (0.17人)	[概算コスト] 3,469 (内訳) ・決算額 1,525 ・人件費 1,944 (0.25人)	[概算コスト] 2,692 (内訳) ・予算額 1,376 ・人件費 1,316 (0.17人)
12	青少年ボランティア活動推進事業	青少年課	助成・育成	○事業開始年度 平成14年度 【概要】 学校や地域社会、少年団体等における青少年のボランティア活動を促進するために、中学生を対象にボランティア活動の意義や活動の進め方等についての研修を行い、ボランティアジュニアリーダーを養成する。 (中央公民館、谷山市民会館(2会場)) 【対象者】 市内国公立中学校1、2年生 【具体的な活動内容】 ・講義、演習等	市単	[概算コスト] 670 (内訳) ・決算額 36 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 659 (内訳) ・決算額 31 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 664 (内訳) ・決算額 42 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 662 (内訳) ・予算額 43 ・人件費 619 (0.08人)

【評価区分】

A:継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
 B:見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
 C:統合 事業の統合を検討すべき
 D:縮小 事業規模を縮小する必要がある

E:休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
 F:廃止 制度自体を廃止すべき
 G:終了 事業の終りに合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度			
地区学校保健研究協議会発表校数 (単位:校)	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100.0%	市学校保健フォーラム参加者数 (単位:人)	[目標値] 500 [実績値] 513 〈達成率〉 102.6%	[目標値] 500 [実績値] 488 〈達成率〉 97.6%	[目標値] 500 [実績値] 538 〈達成率〉 107.6%	[目標値] 500 [実績値] 538 〈達成率〉 107.6%	A	A	継続 (理由) 児童生徒の健康の保持・増進を目指し、学校、家庭、地域、医療機関等が連携し、学校保健活動を充実させていくため、必要な事業である。
学校への講師派遣数 (単位:人)	[目標値] 61 [実績値] 89 〈達成率〉 145.9%	[目標値] 61 [実績値] 85 〈達成率〉 139.3%	[目標値] 61 [実績値] 88 〈達成率〉 144.3%	[目標値] 61 [実績値] 88 〈達成率〉 144.3%	講演会等への参加者数 (単位:人)	[目標値] 10,000 [実績値] 10,629 〈達成率〉 106.3%	[目標値] 10,000 [実績値] 10,526 〈達成率〉 105.3%	[目標値] 10,000 [実績値] 9,491 〈達成率〉 94.9%	[目標値] 10,000 [実績値] 9,491 〈達成率〉 94.9%	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(14ページ)参照
嘱託医数【職員数50人以上の学校へ配置】 (単位:人)	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 9 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 9 〈達成率〉 100.0%	嘱託医の指導回数 (単位:回)	[目標値] 120 [実績値] 101 〈達成率〉 84.2%	[目標値] 120 [実績値] 94 〈達成率〉 78.3%	[目標値] 108 [実績値] 80 〈達成率〉 74.1%	[目標値] 132 [実績値] 80 〈達成率〉 60.6%	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(15ページ)参照
アンケート調査実施校数 (単位:校)	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100.0%	研究誌発行回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	A	B	見直し (理由) 学校給食研究誌作成が事業の主な内容であり、負担金を市学校給食協議会へ交付して作成する現在の事業手法を見直すべきである。
実施回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	参加者数 (単位:人)	[目標値] 45 [実績値] 43 〈達成率〉 95.6%	[目標値] 45 [実績値] 43 〈達成率〉 95.6%	[目標値] 45 [実績値] 44 〈達成率〉 97.8%	[目標値] 45 [実績値] 44 〈達成率〉 97.8%	A	A	継続 (理由) 交流により本市中学生のリーダー性が向上し、学校や地域活動の充実が図られるなど、青少年の健全育成に必要な事業である。
実施回数 (単位:回)	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	参加者数 (単位:人)	[目標値] 149 [実績値] 152 〈達成率〉 102.0%	[目標値] 76 [実績値] 73 〈達成率〉 96.1%	[目標値] 136 [実績値] 127 〈達成率〉 93.4%	[目標値] 132 [実績値] 127 〈達成率〉 96.2%	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(16ページ)参照

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						23年度	24年度	25年度	26年度
13	子ども体験活動支援情報誌作成事業	青少年課	助成・育成	○事業開始年度 平成15年度 【概要】 ・子どもの体験活動機会や家庭教育支援に関する情報収集 ・情報誌の作成や配布 ・子どもの体験活動に関する相談や紹介 【対象者】 市内幼稚園、各小・中学生を持つ家庭、学校関係施設等 【具体的な活動内容】 ・年6回(4、6、8、10、12、2月)52,000部発行する。	市単	[概算コスト] 3,895 (内訳) ・決算額 1,914 ・人件費 1,981 (0.25人)	[概算コスト] 3,603 (内訳) ・決算額 1,641 ・人件費 1,962 (0.25人)	[概算コスト] 3,616 (内訳) ・決算額 1,672 ・人件費 1,944 (0.25人)	[概算コスト] 4,222 (内訳) ・予算額 2,287 ・人件費 1,935 (0.25人)
14	青少年ふれあい交流・体験活動促進事業	青少年課	助成・育成	○事業開始年度 平成17年度 【概要】 豊かな自然の中で、異年齢グループによる野外活動を通して、暑さに負けないたくましい心身をもつ心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育成する。 【対象者】 小学校4年生～6年生、ジュニアリーダー 【具体的な活動内容】 ・1泊2日(夏季休業中) ・大垣少年の船団員との交流、少年自然の家泊、シーカヤック体験	市単	[概算コスト] 1,056 (内訳) ・決算額 422 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 1,049 (内訳) ・決算額 421 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 1,053 (内訳) ・決算額 431 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 1,063 (内訳) ・予算額 444 ・人件費 619 (0.08人)
15	新・郷中教育推進事業	青少年課	助成・育成	○事業開始年度 平成20年度 【概要】 放課後等に、小学校の余裕教室を利用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちが勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等に、異年齢集団のよさを生かしながら取り組むことにより、地域社会において心豊かで健やかに成長する環境づくりの推進を図る。 【対象者】 小学校4年生～6年生 【具体的な活動】 ・学習活動 ・スポーツ、レクリエーション活動 ・交流活動 ・文化活動	国・県補助	[概算コスト] 20,157 (内訳) ・決算額 18,810 ・人件費 1,347 (0.17人)	[概算コスト] 16,978 (内訳) ・決算額 15,644 ・人件費 1,334 (0.17人)	[概算コスト] 21,290 (内訳) ・決算額 19,968 ・人件費 1,322 (0.17人)	[概算コスト] 21,424 (内訳) ・予算額 20,108 ・人件費 1,316 (0.17人)
16	青少年問題協議会	青少年課	調査・研究	○事業開始年度 昭和42年度 【概要】 青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する施策を総合的に推進するため、青少年健全育成に関する施策等を審議するとともに、関係機関相互の連携調整を行う。 【対象者】 委員:学識経験者・公募市民・関係行政機関の職員 【主な活動内容】 ・年2回協議会を開き、青少年育成に関する総合的な施策について調査・審議する。 ・10名程度の専門委員で年2回専門委員会を開き、青少年育成に関する具体的事項について調査・審議する。 ・関係機関・団体に対して意見具申等を行うとともに連絡調整を図る。	市単	[概算コスト] 1,710 (内訳) ・決算額 442 ・人件費 1,268 (0.16人)	[概算コスト] 1,738 (内訳) ・決算額 482 ・人件費 1,256 (0.16人)	[概算コスト] 1,736 (内訳) ・決算額 492 ・人件費 1,244 (0.16人)	[概算コスト] 1,812 (内訳) ・予算額 573 ・人件費 1,239 (0.16人)
17	子ども会育成事業	青少年課	助成・育成	○事業開始年度 昭和36年度 【概要】 あいご会、子ども会の組織の拡充、活動の強化を図るため、あいご主事をはじめ、育成者の資質の向上や、子ども会のリーダーの育成に努める。 【対象者】 あいご主事、子ども会リーダー、あいご会指導者・育成者 【具体的な活動内容】 あいご主事研修会、子ども会リーダー研修会、校区あいご会研修会の開催	市単	[概算コスト] 8,922 (内訳) ・決算額 8,288 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 8,910 (内訳) ・決算額 8,282 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 8,861 (内訳) ・決算額 8,239 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 8,911 (内訳) ・予算額 8,292 ・人件費 619 (0.08人)
18	心豊かで元気あふれる「さつまっ子」育成市民会議	青少年課	助成・育成	○事業開始年度 平成15年度 【概要】 次代の鹿児島市を担う心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を市民全体で育成するため、市民会議を設置し、市民ぐるみで青少年の健全育成活動を推進する。 【対象者】 関係機関・団体の代表者、個人 【具体的な活動内容】 市民会議、企画運営委員会、明るく楽しい学校づくり市民大会、さつまっ子のつどい、心のとびらを開く家庭づくり講座の開催	市単	[概算コスト] 2,362 (内訳) ・決算額 1,094 ・人件費 1,268 (0.16人)	[概算コスト] 2,372 (内訳) ・決算額 1,116 ・人件費 1,256 (0.16人)	[概算コスト] 2,240 (内訳) ・決算額 996 ・人件費 1,244 (0.16人)	[概算コスト] 2,234 (内訳) ・予算額 995 ・人件費 1,239 (0.16人)

【評価区分】

A:継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
 B:見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
 C:統合 事業の統合を検討すべき
 D:縮小 事業規模を縮小する必要がある

E:休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
 F:廃止 制度自体を廃止すべき
 G:終了 事業の終りに合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度			
発行回数 (単位:回)	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	掲載情報数 (単位:件)	[目標値] 670 [実績値] 745 〈達成率〉 111.2%	[目標値] 728 [実績値] 714 〈達成率〉 98.1%	[目標値] 720 [実績値] 822 〈達成率〉 114.2%	[目標値] 760 [実績値] 822 〈達成率〉 108.2%	A	A	継続 (理由) 子どもの体験活動の機会に関する情報を提供するために、必要な事業である。
実施回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	参加者数 (単位:人)	[目標値] 42 [実績値] 41 〈達成率〉 97.6%	[目標値] 42 [実績値] 40 〈達成率〉 95.2%	[目標値] 42 [実績値] 41 〈達成率〉 97.6%	[目標値] 42 [実績値] 41 〈達成率〉 97.6%	A	A	継続 (理由) 心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育成するとともに、大垣少年の船で来鹿した児童生徒との交流もあり、必要な事業である。
開設教室数 (単位:校)	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	申込者数 (単位:人)	[目標値] 300 [実績値] 392 〈達成率〉 130.7%	[目標値] 300 [実績値] 381 〈達成率〉 127.0%	[目標値] 340 [実績値] 386 〈達成率〉 113.5%	[目標値] 340 [実績値] 386 〈達成率〉 113.5%	A	B	見直し (理由) ※外部評価シート(17ページ)参照
協議会開催回数 (単位:回)	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	青少年健全育成の推進	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	A	A	継続 (理由) 総合的な立場から青少年問題について検討を行うとともに、関係機関との連携強化を図るため、必要な事業である。
あいご主事の委嘱数 (単位:人)	[目標値] 189 [実績値] 189 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 189 [実績値] 189 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 189 [実績値] 189 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 189 [実績値] 189 〈達成率〉 100.0%	校区あいご会研修会参加者数 (単位:人)	[目標値] 4,000 [実績値] 4,042 〈達成率〉 101.1%	[目標値] 4,000 [実績値] 3,861 〈達成率〉 96.5%	[目標値] 4,000 [実績値] 4,583 〈達成率〉 114.6%	[目標値] 4,000 [実績値] 4,583 〈達成率〉 114.6%	A	A	継続 (理由) 子ども会指導者の資質が高まり、自主的な活動が促進されることで、市民の青少年育成に対する積極的な取組の高まりを期待でき、必要な事業である。
市民会議委員委嘱数 (単位:人)	[目標値] 42 [実績値] 42 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 42 [実績値] 42 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 30 [実績値] 30 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 30 [実績値] 30 〈達成率〉 100.0%	明るく楽しい学校づくり市民大会参加者数 (単位:人)	[目標値] 880 [実績値] 861 〈達成率〉 97.8%	[目標値] 871 [実績値] 960 〈達成率〉 110.2%	[目標値] 886 [実績値] 956 〈達成率〉 107.9%	[目標値] 892 [実績値] 956 〈達成率〉 107.2%	A	A	継続 (理由) 次代の鹿児島市を担う心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を市民全体で育成するため、必要な事業である。

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						23年度	24年度	25年度	26年度
19	青年教養セミナーの開設	青少年課	助成・育成	○事業開始年度 昭和30年度 【概要】生涯学習の定着を図るため、青年教養セミナーを開設し、各種勉強会、研修会への参加を通じて、自主グループの育成を図る。 【対象者】青年(15歳～おおむね40歳) 【具体的な活動内容】青年教養セミナーの開設	市単	[概算コスト] 1,447 (内訳) ・決算額 813 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 1,320 (内訳) ・決算額 692 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 1,392 (内訳) ・決算額 770 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 1,433 (内訳) ・予算額 814 ・人件費 619 (0.08人)
20	青少年教育指導者の養成	青少年課	助成・育成	○事業開始年度 昭和50年度 【概要】社会教育団体のリーダーの中から指導的役割を果たす者を発掘し、有志指導者として養成する。 【対象者】社会教育団体の指導者 【具体的な活動内容】少年団成人指導者研修会及びあいご会役員研修会、青年団指導者及びセミナー主事等研修会、ジュニアリーダー養成研修への派遣	市単	[概算コスト] 754 (内訳) ・決算額 120 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 708 (内訳) ・決算額 80 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 716 (内訳) ・決算額 94 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 735 (内訳) ・予算額 116 ・人件費 619 (0.08人)
21	青年会館事業	青少年課	助成・育成	○事業開始年度 昭和62年度 【概要】青年の研修、社会教育活動を促進し、心身ともに健全な青年の育成を図る。 【対象者】青年(おおむね40歳まで) 【具体的な活動内容】 ・青年会館の効果的運営のための設備の充実 ・講座、研修会等の充実 ・団体活動や会館利用者に対する助言、指導	市単	[概算コスト] 1,944 (内訳) ・決算額 676 ・人件費 1,268 (0.16人)	[概算コスト] 2,260 (内訳) ・決算額 1,004 ・人件費 1,256 (0.16人)	[概算コスト] 1,771 (内訳) ・決算額 527 ・人件費 1,244 (0.16人)	[概算コスト] 1,786 (内訳) ・予算額 547 ・人件費 1,239 (0.16人)
22	新成人のつどい	青少年課	イベント	○事業開始年度 昭和28年度 【概要】二十歳を迎えた青年が、大人としての責任や義務を自覚し、強く生き抜くための意欲を高めるとともに、人口60万人を超える県都鹿児島市のまちづくりのための大きな力となるよう、新成人の門出を祝い激励する。 【対象者】平成6年4月2日から平成7年4月1日までに生まれ、現在、鹿児島市に居住、または帰省中の新成人 【具体的な活動内容】 ・新成人のつどいの開催 ・実行委員会の設置 ・記念誌の作成	市単	[概算コスト] 5,544 (内訳) ・決算額 3,563 ・人件費 1,981 (0.25人)	[概算コスト] 5,512 (内訳) ・決算額 3,550 ・人件費 1,962 (0.25人)	[概算コスト] 5,515 (内訳) ・決算額 3,571 ・人件費 1,944 (0.25人)	[概算コスト] 5,591 (内訳) ・予算額 3,656 ・人件費 1,935 (0.25人)
23	少年自然の家主催事業	少年自然の家	イベント	○事業開始年度 昭和50年度 【概要】青少年をはじめ市民に広く学習活動・体験活動の機会を提供し、施設の有効活用と広く市民に利用の拡大を図る。 【対象者】児童生徒及びその保護者等 【具体的な活動内容】 ・施設の理解を深める事業 ・施設の特徴を生かした事業 ・施設に親しんでもらう事業 ・農業・収穫を体験する事業など	市単	[概算コスト] 6,225 (内訳) ・決算額 520 ・人件費 5,705 (0.72人)	[概算コスト] 6,820 (内訳) ・決算額 541 ・人件費 6,279 (0.80人)	[概算コスト] 6,755 (内訳) ・決算額 534 ・人件費 6,221 (0.80人)	[概算コスト] 6,728 (内訳) ・予算額 535 ・人件費 6,193 (0.80人)
24	次世代を切り拓く青少年育成事業	少年自然の家	調査・研究	○事業開始年度 平成25年度 【概要】人材育成の拠点として「少年自然の家」及び歴史的・教育的価値を有する周辺環境の活用を図るためのプログラムを、平成26年度に策定し、知識だけでなく人間性を磨く幅広い人材育成を図る。 【対象者】市内外の青少年(おおむね30歳未満) 【具体的な活動内容】 ・長期宿泊体験～長期宿泊生活により人間性を磨く～ ・交流・出会い～達人に学び出会いで育つ～ ・グローバル人材の育成～鹿児島から世界へ～ など	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 8,721 (内訳) ・決算額 5,611 ・人件費 3,110 (0.40人)	[概算コスト] 4,380 (内訳) ・予算額 664 ・人件費 3,716 (0.48人)

【評価区分】

A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
 B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
 C: 統合 事業の統合を検討すべき
 D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
 F: 廃止 制度自体を廃止すべき
 G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度			
青年教養セミナー主事の委嘱数 (単位:人)	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 6 〈達成率〉 85.7%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7	セミナー生の数 (単位:人)	[目標値] 146 [実績値] 136 〈達成率〉 93.2%	[目標値] 144 [実績値] 153 〈達成率〉 106.3%	[目標値] 147 [実績値] 141 〈達成率〉 95.9%	[目標値] 145	A	A	継続 (理由) 青年が、個々の人間性を豊かにし、資質の向上を図るため、学習の場と機会の提供ができており、必要な事業である。 なお、昭和30年度からの事業であり、時代のニーズに適応しているのか必要性を含め検討すること。
少年団体成人指導者研修会及びあいご会役員研修会実施回数 (単位:回)	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2	少年団体成人指導者研修会及びあいご会役員研修会参加者数 (単位:人)	[目標値] 320 [実績値] 354 〈達成率〉 110.6%	[目標値] 329 [実績値] 393 〈達成率〉 119.5%	[目標値] 342 [実績値] 347 〈達成率〉 101.5%	[目標値] 351	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(18ページ)参照
青年会館講座開設数 (単位:講座)	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7	青年会館講座受講延人数 (単位:人)	[目標値] 814 [実績値] 892 〈達成率〉 109.6%	[目標値] 809 [実績値] 1,038 〈達成率〉 128.3%	[目標値] 881 [実績値] 946 〈達成率〉 107.4%	[目標値] 921	A	A	継続 (理由) 青年リーダーを養成するとともに、講座を開設し、青年の学ぶ機会と場を提供するため、必要な事業である。
実施回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	新成人健全育成の推進	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	A	A	継続 (理由) 「新成人のつどい」は、成人に達する人々を招き、全市民が激励・祝福する行事のため、必要な事業である。
主催事業実施回数 (単位:回)	[目標値] 53 [実績値] 53 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 55 [実績値] 54 〈達成率〉 98.2%	[目標値] 54 [実績値] 54 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 55	参加者数 (単位:人)	[目標値] 9,000 [実績値] 9,119 〈達成率〉 101.3%	[目標値] 9,200 [実績値] 9,470 〈達成率〉 102.9%	[目標値] 9,500 [実績値] 9,920 〈達成率〉 104.4%	[目標値] 10,000	A	A	継続 (理由) 野外活動や農業・収穫体験など、非日常的体験活動の機会を児童生徒及びその保護者等に提供する主催事業は、青少年健全育成上有効であり、必要な事業である。 なお、市民ニーズについて、アンケート等でしっかり把握して事業に反映させること。
会議開催 (単位:回)	[目標値]	[目標値]	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4	委員出席数 (単位:人)	[目標値]	[目標値]	[目標値] 77 [実績値] 68 〈達成率〉 88.3%	[目標値] 60	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(19ページ)参照

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						23年度	24年度	25年度	26年度
25	わくわくアドベンチャー事業	少年自然の家	イベント	○事業開始年度 平成18年度 【概要】 三島村硫黄島で3泊4日の生活体験キャンプを実施する。 【対象者】 小学4年生から高校3年生まで 100人 【具体的な活動内容】 ・出発式、船内活動(往路)、島の歴史を聞くタペ ・冒険ウォークラリー(俊寛堂、平家墓、恋人岬、東温泉他)、ジャンベ体験、三島II乗船体験 ・船内活動(復路)、修了式	市単	[概算コスト] 3,317 (内訳) ・決算額 782 ・人件費 2,535 (0.32人)	[概算コスト] 3,223 (内訳) ・決算額 83 ・人件費 3,140 (0.40人)	[概算コスト] 3,298 (内訳) ・決算額 810 ・人件費 2,488 (0.32人)	[概算コスト] 3,355 (内訳) ・予算額 878 ・人件費 2,477 (0.32人)
26	図書館子どもの読書活動支援事業	図書館	その他	○事業開始年度 平成18年度 【概要】 子どもが主体的に読書活動に取り組む環境づくりを推進するため、幼稚園等に読み聞かせ講師を派遣するとともに、幼稚園等を通じて絵本ガイドを配付する。 また、毎週木曜日と土曜日に、定期的にお話会等を実施する。 【対象者】 乳幼児及び小学生とその保護者 【具体的な活動内容】 ・読み聞かせ講師派遣:幼稚園、保育園、小学校等の要望に応じて読み聞かせ講師を派遣する。 ・絵本ガイド配付:幼稚園等を通じて4歳児に絵本ガイド(4~6歳児向け)を配付する。(平成21年度から)	市単	[概算コスト] 834 (内訳) ・決算額 755 ・人件費 79 (0.01人)	[概算コスト] 645 (内訳) ・決算額 567 ・人件費 78 (0.01人)	[概算コスト] 499 (内訳) ・決算額 421 ・人件費 78 (0.01人)	[概算コスト] 649 (内訳) ・予算額 572 ・人件費 77 (0.01人)
27	ブックスタート事業	図書館	その他	○事業開始年度 平成19年度 【概要】 0歳児とその保護者に絵本を配付し、家庭での読み聞かせを通じて赤ちゃんの言葉と心を育むとともに、家族のあたたかい心の交流を支援する。 【対象者】 0歳児とその保護者 【具体的な活動内容】 市民課等での出生届の際、絵本及び絵本ガイド(0~3歳児向け)等を配付する。	市単	[概算コスト] 3,744 (内訳) ・決算額 3,665 ・人件費 79 (0.01人)	[概算コスト] 3,378 (内訳) ・決算額 3,300 ・人件費 78 (0.01人)	[概算コスト] 3,067 (内訳) ・決算額 2,989 ・人件費 78 (0.01人)	[概算コスト] 3,538 (内訳) ・予算額 3,461 ・人件費 77 (0.01人)
28	学校図書館運営事業	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 昭和36年度 【概要】 市立小中学校の学校図書館の円滑な運営を図るため、学校図書館司書を配置するとともに、司書としての資質の向上を図る。 【対象者】 全小中学校 【具体的な活動内容】 ・小中併設校の錫山中学校を除く全小中学校に1人配置(116人) ・司書としての資質向上を図る研修会の実施(年4回)	市単	[概算コスト] 259,033 (内訳) ・決算額 257,765 ・人件費 1,268 (0.16人)	[概算コスト] 268,174 (内訳) ・決算額 266,918 ・人件費 1,256 (0.16人)	[概算コスト] 268,497 (内訳) ・決算額 267,253 ・人件費 1,244 (0.16人)	[概算コスト] 270,541 (内訳) ・予算額 269,302 ・人件費 1,239 (0.16人)
29	市立高等学校就職サポート事業	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 平成14年度 【概要】 「就職支援員」を拠点高校(鹿児島商業高等学校)に1人(1人×12月)配置し、公共職業安定所と連携した新規求人開拓と、市立3高等学校への訪問指導や情報提供等の業務を行う。 【対象者】 市立高校の就職希望者 【具体的な活動内容】 ・地区内の職安と連携しての求人情報の収集及び提供 ・生徒が希望する職種・業種への求人開拓 ・経験上得た進路指導に関する情報の提供 ・個別進路相談における援助 ・職業に対する意識高揚への助言 ・早期離職防止や職業観・勤労観を育成するキャリア教育推進のための支援	市単	[概算コスト] 2,339 (内訳) ・決算額 2,260 ・人件費 79 (0.01人)	[概算コスト] 2,289 (内訳) ・決算額 2,211 ・人件費 78 (0.01人)	[概算コスト] 2,435 (内訳) ・決算額 2,357 ・人件費 78 (0.01人)	[概算コスト] 2,577 (内訳) ・予算額 2,500 ・人件費 77 (0.01人)
30	就学指導等推進事業	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 平成5年度 【概要】 障害等のある幼児児童生徒の就学に関する教育相談を行い、適切な就学指導及び教育措置を行う。 【対象者】 幼児児童生徒、教職員 【具体的な活動内容】 ・就学教育相談、就学指導委員会、進路指導研修会、交流及び共同学習、院内学級整備、車いす用階段昇降機整備	市単	[概算コスト] 2,631 (内訳) ・決算額 1,046 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 7,752 (内訳) ・決算額 6,182 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 7,757 (内訳) ・決算額 6,202 ・人件費 1,555 (0.20人)	[概算コスト] 8,767 (内訳) ・予算額 7,219 ・人件費 1,548 (0.20人)

【評価区分】

A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
 B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
 C: 統合 事業の統合を検討すべき
 D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
 F: 廃止 制度自体を廃止すべき
 G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度			
開催回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 0 (荒天中止) <達成率> 0.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1	参加者数 (単位:人)	[目標値] 100 [実績値] 87 <達成率> 87.0%	[目標値] 100 [実績値] 0 (荒天中止) <達成率> 0.0%	[目標値] 100 [実績値] 98 <達成率> 98.0%	[目標値] 100	A	A	継続 (理由) 異年齢での体験活動を通して、たくましい青少年の育成を図るため、必要な事業である。 なお、参加者の選考にあたっては、参加したことがない児童生徒を優先して選考すること。
読み聞かせ講師派遣回数 (単位:回)	[目標値] 23 [実績値] 23 <達成率> 100.0%	[目標値] 27 [実績値] 27 <達成率> 100.0%	[目標値] 24 [実績値] 24 <達成率> 100.0%	[目標値] 24	子どもの読書活動推進	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	A	A	継続 (理由) 読み聞かせに適した本の紹介や、読み聞かせの実演指導等により、子どもが主体的に読書活動に取り組むための環境づくりを推進するため、必要な事業である。 なお、読み聞かせ講師の派遣については、必要性も含め、より効果的な方法を検討すること。読み聞かせを実践する立場の母親やグループリーダーなどの研修会等へ講師派遣することも検討すること。
絵本の配付冊数 (単位:冊)	[目標値] 6,430 [実績値] 6,430 <達成率> 100.0%	[目標値] 6,052 [実績値] 6,052 <達成率> 100.0%	[目標値] 6,241 [実績値] 6,241 <達成率> 100.0%	[目標値] 5,495	子どもの読書活動推進	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	A	A	継続 (理由) 家庭での読み聞かせを通じて赤ちゃんの言葉と心を育むとともに、家族のあたたかい心の交流を支援し、読書活動の推進のみならず、子育ての支援にも寄与するため、必要な事業である。
研修会の実施 (単位:回)	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4	1か月の読書量(上段:小学校、下段:中学校) (単位:冊)	[目標値] 19 6 [実績値] 21 6 <達成率> 109.5% 106.7%	[目標値] 19 6 [実績値] 22 7 <達成率> 117.4% 112.2%	[目標値] 19 6 [実績値] 26 7 <達成率> 135.3% 114.3%	[目標値] 19	A	A	継続 (理由) 児童生徒の読書量の増加等、読書活動推進のため、必要な事業である。
就職支援員数 (単位:人)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1	就職内定率 (単位:%)	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	[目標値] 100	A	A	継続 (理由) 就職を希望する生徒のニーズに応じた求人開拓を行い、適切な進路指導を実施していく上で、必要な事業である。
就学教育相談会の実施回数 (単位:回)	[目標値] 28 [実績値] 29 <達成率> 103.6%	[目標値] 29 [実績値] 31 <達成率> 106.9%	[目標値] 31 [実績値] 31 <達成率> 100.0%	[目標値] 31	就学指導委員会の判断に基づき就学した人数 (単位:人)	[目標値] 474 [実績値] 433 <達成率> 91.4%	[目標値] 562 [実績値] 510 <達成率> 90.7%	[目標値] 577 [実績値] 517 <達成率> 89.6%	[目標値] 500	A	A	継続 (理由) 就学教育相談を必要とする幼児児童生徒は年々増加しており、障害の状態や本人・保護者等の意見を尊重しながら、総合的な就学判断を行うため、必要な事業である。

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						23年度	24年度	25年度	26年度
31	特別支援教育体制推進事業	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 平成17年度 【概要】 特別支援教育に係る支援体制の充実を図るとともに、教育上特別な配慮が必要な幼児児童生徒に対する支援の充実を図るための支援員を配置する。 【対象者】 幼児児童生徒、教職員 【具体的な活動内容】 ・特別支援教育に関する研修会の実施 ・特別支援教育支援員の配置 ・巡回相談の実施 ・市特別支援教育連携協議会の実施 ・相談支援ファイルの作成と活用	市単	[概算コスト] 98,643 (内訳) ・決算額 97,058 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 101,403 (内訳) ・決算額 99,833 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 101,669 (内訳) ・決算額 100,114 ・人件費 1,555 (0.20人)	[概算コスト] 162,763 (内訳) ・予算額 161,215 ・人件費 1,548 (0.20人)
32	特別支援教育就学奨励事業	総務課	助成・育成	○事業開始年度 昭和32年度 【概要】 特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な援助を行うことにより、特別支援教育の普及奨励を図る。 【対象者】 本市内の小中学校(私立校を除く)の特別支援学級に在籍する児童生徒又は普通学級に在籍する学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童生徒の保護者(就学援助・生活保護等他の援助を受けているものは除く。) 【具体的な活動内容】 援助の種類:学用品費、新入学児童生徒学用品費等、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、体育実技用具費	国補助	[概算コスト] 10,896 (内訳) ・決算額 8,044 ・人件費 2,852 (0.36人)	[概算コスト] 11,259 (内訳) ・決算額 8,433 ・人件費 2,826 (0.36人)	[概算コスト] 11,988 (内訳) ・決算額 9,189 ・人件費 2,799 (0.36人)	[概算コスト] 14,269 (内訳) ・予算額 11,482 ・人件費 2,787 (0.36人)
33	通級指導教室保護者交通費助成事業	総務課	助成・育成	○事業開始年度 平成19年度 【概要】 通級指導教室へ通級する児童生徒に付き添う保護者の交通費等の一部を助成し、保護者の費用を軽減し、特別支援教育の振興を図る。 【対象者】 公共交通機関または自家用車を利用して、本市内の通級指導教室に通級する児童生徒に付き添う保護者 【具体的な活動内容】 ・公共交通機関利用者:通級児童生徒の通級に付き添うために要した公共交通機関の運賃の1/2を助成する。 ・自家用車利用者:通級児童生徒の通級の送迎に要した燃料費相当額の1/2を助成する。	市単	[概算コスト] 469 (内訳) ・決算額 311 ・人件費 158 (0.02人)	[概算コスト] 456 (内訳) ・決算額 299 ・人件費 157 (0.02人)	[概算コスト] 472 (内訳) ・決算額 316 ・人件費 156 (0.02人)	[概算コスト] 730 (内訳) ・予算額 575 ・人件費 155 (0.02人)
34	消費者教育推進事業	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 平成25年度 【概要】 消費者教育の推進に関する法律及び鹿児島市消費生活条例に基づき、本市中・高校生が消費者トラブルに巻き込まれないために必要とされる資質を育成する。 【対象者】 中高校生 【具体的な活動内容】 中高校において、外部講師を招聘し、生徒を対象とした講演会や出前授業を次のとおり4か年計画で行う。 年度 実施校数 累積実施率 年度 実施校数 累積実施率 H25 11校 26.1% H27 11校 76.1% H26 10校 50.0% H28 10校 100.0%	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 488 (内訳) ・決算額 99 ・人件費 389 (0.05人)	[概算コスト] 486 (内訳) ・予算額 99 ・人件費 387 (0.05人)
35	教職員等研修事業	学校教育課	助成・育成	○事業開始年度 平成12年度 【概要】 教職員研修や教育講演会を開催し、教職員としての資質の向上と本市学校教育の充実を図る。 【対象者】 市立幼・小・中・高等学校教職員 【具体的な活動内容】 ・各種研修会の実施 ・本市研究協力校等における研究推進の助成 ・市立高校における進路指導充実のための助成 ・専門性向上のための研究会等への派遣 ・研究団体への補助金交付 ・市教育講演会の実施	市単	[概算コスト] 11,329 (内訳) ・決算額 10,537 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 10,544 (内訳) ・決算額 9,759 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 9,045 (内訳) ・決算額 8,267 ・人件費 778 (0.10人)	[概算コスト] 9,989 (内訳) ・予算額 9,215 ・人件費 774 (0.10人)
36	小・中学校太陽光発電装置整備事業	施設課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成17年度 【概要】 市内の小・中学校における環境教育として、また二酸化炭素などの温室効果ガスの更なる排出量削減や環境負荷の低減策として、「鹿児島市メガソーラー発電所計画」に基づき太陽光発電装置を設置する。 【対象者】 児童生徒等 【具体的な活動内容】 「鹿児島市メガソーラー発電所計画」に基づいて、太陽光発電装置を毎年4校ずつ整備する。	国補助	[概算コスト] 127 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 127 (0.02人)	[概算コスト] 233,417 (内訳) ・決算額 227,703 ・人件費 5,714 (0.73人)	[概算コスト] 95,633 (内訳) ・決算額 92,709 ・人件費 2,924 (0.38人)	[概算コスト] 132,109 (内訳) ・予算額 129,198 ・人件費 2,911 (0.38人)

【評価区分】

A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
 B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
 C: 統合 事業の統合を検討すべき
 D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
 F: 廃止 制度自体を廃止すべき
 G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度			
特別支援教育支援員の配置校数 (単位:校)	[目標値] 94 [実績値] 72 〈達成率〉 76.6%	[目標値] 100 [実績値] 81 〈達成率〉 81.0%	[目標値] 101 [実績値] 101 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 108	特別支援教育支援員が支援した幼児児童生徒数 (単位:人)	[目標値] 1,613 [実績値] 1,053 〈達成率〉 65.3%	[目標値] 1,865 [実績値] 1,145 〈達成率〉 61.4%	[目標値] 2,091 [実績値] 1,382 〈達成率〉 66.1%	[目標値] 2,406	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(20ページ)参照
対象者数 (単位:人)	[目標値] 262 [実績値] 272 〈達成率〉 103.8%	[目標値] 302 [実績値] 276 〈達成率〉 91.4%	[目標値] 301 [実績値] 311 〈達成率〉 103.3%	[目標値] 320	保護者の経済的負担の軽減	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	A	A	継続 (理由) 特別支援学級に在籍する児童生徒は年々増加しており、また、景気の低迷等に伴い援助対象者も年々増加している。特別支援教育の一層の充実を図るとともに、保護者の教育費負担の軽減等を講ずるため、必要な事業である。
対象者数 (単位:人)	[目標値] 163 [実績値] 151 〈達成率〉 92.6%	[目標値] 151 [実績値] 159 〈達成率〉 105.3%	[目標値] 160 [実績値] 161 〈達成率〉 100.6%	[目標値] 160	保護者の経済的負担の軽減	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	A	A	継続 (理由) 通級指導教室に通級する児童生徒の保護者の教育費負担を軽減するため、必要な事業である。
実施校数 (単位:校)	[目標値]	[目標値]	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10	参加生徒数 (単位:人)	[目標値]	[目標値]	[目標値] 1,904 [実績値] 1,904 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1,374	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(21ページ)参照
研修会の実施回数 (単位:回)	[目標値] 148 [実績値] 148 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 152 [実績値] 152 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 173 [実績値] 173 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 169	教職員の資質向上	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(22ページ)参照
整備校数 (単位:校)	[目標値] 4 [実績値] 0 〈達成率〉 0.0%	[目標値] 4 [実績値] 8 〈達成率〉 200.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4	整備総校数 (単位:校)	[目標値] 111 [実績値] 37 〈達成率〉 33.3%	[目標値] 111 [実績値] 45 〈達成率〉 40.5%	[目標値] 111 [実績値] 49 〈達成率〉 44.1%	[目標値] 111	A	A	継続 (理由) 児童生徒の環境に対する意識の醸成、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量削減や環境負荷を低減するため、必要な事業である。 なお、全体計画の妥当性を再検討すること。

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						23年度	24年度	25年度	26年度
37	学校施設緑化推進事業	施設課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成18年度 【概要】 児童生徒の教育環境の充実とヒートアイランド化の抑制を図るため、市内の幼・小・中・高校に校庭芝生、緑陰空間等を年次的に整備する。 【対象者】 幼児、児童生徒 【具体的な活動内容】 ・校庭の芝生化 ・緑陰空間の整備(樹木と芝生の植栽) ・校舎屋上の緑化	国補助	[概算コスト] 97,540 (内訳) ・決算額 91,598 ・人件費 5,942 (0.75人)	[概算コスト] 108,837 (内訳) ・決算額 104,912 ・人件費 3,925 (0.50人)	[概算コスト] 80,814 (内訳) ・決算額 76,926 ・人件費 3,888 (0.50人)	[概算コスト] 14,931 (内訳) ・予算額 12,376 ・人件費 2,555 (0.33人)
38	学校クーラー設置事業	施設課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 昭和53年度 【概要】 夏季の降灰時期も快適な教育環境を確保するため、クーラーを設置する。 【対象者】 児童生徒等 【具体的な活動内容】 桜島の降灰の影響が大きいと思われる学校から客観的な基準(桜島の昭和火口からの直線距離)を定めて、普通教室に年次的にクーラーを設置する。 ・23年度:火口から12km以内 31校 ・24年度:火口から14km以内 25校 ・25年度:17km以内 26校 ・26年度:17km超 32校	国補助	[概算コスト] 920,922 (内訳) ・決算額 896,678 ・人件費 24,244 (3.06人)	[概算コスト] 979,959 (内訳) ・決算額 960,493 ・人件費 19,466 (2.48人)	[概算コスト] 922,231 (内訳) ・決算額 902,169 ・人件費 20,062 (2.58人)	[概算コスト] 694,466 (内訳) ・予算額 670,082 ・人件費 24,384 (3.15人)
39	校区公民館活動推進事業	生涯学習課	助成・育成	○事業開始年度 昭和48年度 【概要】 校区公民館活動の振興を図り、校区公民館運営審議会の機能を充実させるとともに、地域住民の身近な生涯学習の場である校区公民館の維持管理を行う。 【対象者】 地域住民並びに町内会、あいご会、PTA等の関係団体 【具体的な活動内容】 校区公民館活動に対する助成、市民あいさつ運動の推進、校区公民館の維持管理など	市単	[概算コスト] 58,407 (内訳) ・決算額 52,861 ・人件費 5,546 (0.70人)	[概算コスト] 55,371 (内訳) ・決算額 50,662 ・人件費 4,709 (0.60人)	[概算コスト] 56,313 (内訳) ・決算額 51,647 ・人件費 4,666 (0.60人)	[概算コスト] 59,500 (内訳) ・予算額 53,307 ・人件費 6,193 (0.80人)
40	競技力向上対策事業	保健体育課	啓発・広報	○事業開始年度 平成11年度 【概要】 中央競技団体から優秀な監督、コーチを招へいし、本市のトップレベルの選手とその指導者を集め、講習会及び実技研修を行う。 【対象者】 各競技団体関係者 【具体的な活動内容】 ・講義及び実技指導 ・実施種目実績 23年度 バドミントン、ハンドボール 24年度 新体操、アーチェリー、剣道 25年度 水泳、ライフル射撃、バレーボール 26年度 卓球、陸上、相撲	市単	[概算コスト] 1,233 (内訳) ・決算額 758 ・人件費 475 (0.06人)	[概算コスト] 1,706 (内訳) ・決算額 1,078 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 1,659 (内訳) ・決算額 1,037 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 1,716 (内訳) ・予算額 1,097 ・人件費 619 (0.08人)
41	九州中学生スポーツ交流大会の開催	保健体育課	啓発・広報	○事業開始年度 平成24年度 【概要】 九州規模の中学生競技別スポーツ大会や錬成会を実施し、本市の指導者の指導方法改善と情報収集に努めるとともに、チーム・選手の競技力向上を図る。 【対象者】 中学生及び各競技団体関係者 【具体的な活動内容】 ・九州大会規模の中学生競技別スポーツ大会 ・実施競技実績 24年度:男女バレーボール、バスケットボール、剣道 25年度:男女バレーボール、バスケットボール、剣道、ラグビー 26年度:男女バレーボール、バスケットボール、剣道、ラグビー、バドミントン	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 1,428 (内訳) ・決算額 800 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 1,622 (内訳) ・決算額 1,000 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 1,897 (内訳) ・予算額 1,200 ・人件費 697 (0.09人)
42	南日本小学生バレーボール大会の開催	保健体育課	イベント	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】 県内外のバレーボール少年団を対象に、相互の親睦を深めるとともに、心身の鍛錬に努め、スポーツの振興と健全育成を図る。 【対象者】 県内外バレーボールスポーツ少年団 【具体的な活動内容】 実行委員会方式により、8月に開催する。 ・開催時期 8月上旬(金～日曜日の3日間) ・場所 桜島総合体育館、補助館 ・参加対象チーム 男・女・男女混成	市単	[概算コスト] 547 (内訳) ・決算額 230 ・人件費 317 (0.04人)	[概算コスト] 544 (内訳) ・決算額 230 ・人件費 314 (0.04人)	[概算コスト] 541 (内訳) ・決算額 230 ・人件費 311 (0.04人)	[概算コスト] 540 (内訳) ・予算額 230 ・人件費 310 (0.04人)

【評価区分】

A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
 B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
 C: 統合 事業の統合を検討すべき
 D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
 F: 廃止 制度自体を廃止すべき
 G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度			
整備校数 (単位:校)	[目標値] 16 [実績値] 16 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 12 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 12 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	整備 総校数 (単位:校)	[目標値] 124 [実績値] 61 〈達成率〉 49.2%	[目標値] 124 [実績値] 73 〈達成率〉 58.9%	[目標値] 124 [実績値] 85 〈達成率〉 68.5%	[目標値] 124 [実績値] 85 〈達成率〉 68.5%	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(23ページ)参照
設置校数 (単位:校)	[目標値] 31 [実績値] 31 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 25 [実績値] 25 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 26 [実績値] 26 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 32 [実績値] 32 〈達成率〉 100.0%	学校環境 衛生基準 適合校数 (単位:校)	[目標値] 114 [実績値] 31 〈達成率〉 27.2%	[目標値] 114 [実績値] 56 〈達成率〉 49.1%	[目標値] 114 [実績値] 82 〈達成率〉 71.9%	[目標値] 114 [実績値] 82 〈達成率〉 71.9%	G	G	終了 (理由) 平成26年度をもって、クーラー設置事業は終了する(クーラー更新実施予定)。 今後は、省エネ・環境負荷低減も考慮した適切な運転が必要である。
校区公民館運営審議会開催数 (単位:回)	[目標値] 474 [実績値] 474 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 474 [実績値] 474 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 456 [実績値] 455 〈達成率〉 99.8%	[目標値] 456 [実績値] 456 〈達成率〉 100.0%	校区公民館利用者数 (単位:人)	[目標値] 294,000 [実績値] 288,552 〈達成率〉 98.1%	[目標値] 294,000 [実績値] 302,441 〈達成率〉 102.9%	[目標値] 295,000 [実績値] 286,717 〈達成率〉 97.2%	[目標値] 295,000 [実績値] 286,717 〈達成率〉 97.2%	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(24ページ)参照
実施回数 (単位:件)	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	県民体育大会競技別成績優勝獲得割合 (単位:%)	[目標値] 60 [実績値] 46 〈達成率〉 76.7%	[目標値] 60 [実績値] 51 〈達成率〉 85.0%	[目標値] 60 [実績値] 55 〈達成率〉 91.7%	[目標値] 60 [実績値] 55 〈達成率〉 91.7%	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(25ページ)参照
参加チーム数 (単位:チーム)	[目標値] 150 [実績値] 159 〈達成率〉 106.0%	[目標値] 200 [実績値] 207 〈達成率〉 103.5%	[目標値] 250 [実績値] 207 〈達成率〉 82.8%	[目標値] 250 [実績値] 207 〈達成率〉 82.8%	市内参加チームの割合 (単位:%)	[目標値] 30 [実績値] 35 〈達成率〉 116.7%	[目標値] 30 [実績値] 35 〈達成率〉 116.7%	[目標値] 30 [実績値] 29 〈達成率〉 96.7%	[目標値] 30 [実績値] 29 〈達成率〉 96.7%	A	A	継続 (理由) 指導者の指導力向上と情報交換及び中学生の競技力向上を図るとともに、鹿児島国体に向けたジュニア強化のためにも、必要な事業である。
大会開催数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	大会参加チーム数 (単位:チーム)	[目標値] 70 [実績値] 79 〈達成率〉 112.9%	[目標値] 70 [実績値] 62 〈達成率〉 88.6%	[目標値] 70 [実績値] 75 〈達成率〉 107.1%	[目標値] 70 [実績値] 75 〈達成率〉 107.1%	A	A	継続 (理由) 子どもの健全育成と、バレーボールスポーツ少年団相互の親睦・連携を深めるため、必要な事業である。

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						23年度	24年度	25年度	26年度
43	南日本チビっ子サッカー大会の開催	保健体育課	イベント	○事業開始年度 昭和54年度 【概要】 県内外の少年サッカーチームが一同に会し、サッカーを通じて交流と友情を深め健全育成を図るとともに、スポーツの振興、地域の活性化も図る。 【対象者】 県内外の少年サッカーチーム(U-12) 【具体的な活動内容】 ・種目 8人制サッカー大会 ・期日 毎年8月22日～8月26日(5日間) ・場所 桜島溶岩グラウンド(13コート)	市単	[概算コスト] 1,634 (内訳) ・決算額 1,000 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 1,628 (内訳) ・決算額 1,000 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 1,622 (内訳) ・決算額 1,000 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 1,619 (内訳) ・予算額 1,000 ・人件費 619 (0.08人)
44	玉里邸庭園整備事業	文化財課	その他	○事業開始年度 平成20年度 【概要】 国指定名勝・仙巖園と並び称される南九州を代表する回遊式庭園として、平成19年7月に国の名勝庭園に指定された「旧島津氏玉里邸庭園」の本来の魅力を取り戻すため、庭園の整備を行う。 【対象者】 市民 【具体的な活動内容】 ・整備活用検討委員会の開催(年2回) ・地割園路整備 ・植栽整備 ・園池、護岸、水系施設の整備 ・茶室改修 ・石塀、石造物の修理等	国・県補助	[概算コスト] 21,028 (内訳) ・決算額 15,640 ・人件費 5,388 (0.68人)	[概算コスト] 45,151 (内訳) ・決算額 39,814 ・人件費 5,337 (0.68人)	[概算コスト] 38,571 (内訳) ・決算額 33,283 ・人件費 5,288 (0.68人)	[概算コスト] 30,227 (内訳) ・予算額 24,963 ・人件費 5,264 (0.68人)
45	文化財保護管理事業	文化財課	調査・研究	○事業開始年度 昭和37年度 【概要】 文化財の保存活用及び公開することにより、文化財愛護思想の普及を図る。 【対象者】 文化財の所有者及び市民 【具体的な活動内容】 ・文化財審議会の開催(年2回実施。必要に応じて部会実施) ・国指定特別天然記念物喜入のリュウキュウコウガイ産地の保護管理 ・国指定史跡及び重要文化財「異人館」の保存管理 ・その他文化財の保存管理及び調査 ・文化財説明板等の設置	市単	[概算コスト] 10,413 (内訳) ・決算額 6,293 ・人件費 4,120 (0.52人)	[概算コスト] 9,526 (内訳) ・決算額 5,445 ・人件費 4,081 (0.52人)	[概算コスト] 20,011 (内訳) ・決算額 15,967 ・人件費 4,044 (0.52人)	[概算コスト] 22,556 (内訳) ・予算額 18,531 ・人件費 4,025 (0.52人)
46	郷土芸能保護事業	文化財課	助成・育成	○事業開始年度 平成元年度 【概要】 郷土芸能が正しく保存継承されるようにする。 【対象者】 郷土芸能団体 【具体的な活動内容】 ・用具の補修等に要する経費の助成 ・運営に要する経費の助成 ・記録映像作成業務(24年度まで)	市単	[概算コスト] 2,635 (内訳) ・決算額 1,843 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 3,112 (内訳) ・決算額 2,327 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 2,125 (内訳) ・決算額 1,347 ・人件費 778 (0.10人)	[概算コスト] 2,294 (内訳) ・予算額 1,520 ・人件費 774 (0.10人)
47	特別天然記念物北限のメヒルギ再生整備活用事業	文化財課	その他	○事業開始年度 平成19年度 【概要】 自生するメヒルギ(別名:リュウキュウコウガイ)の北限地として指定されている「喜入のリュウキュウコウガイ産地」は、鹿児島市内唯一の国指定特別天然記念物である。 このメヒルギが平成17年の豪雨で大量のシラスが流入したことにより、深刻な被害を受けたことから、被害の拡大を防ぎ再生を図るため、生息地の環境改善を行う。 【対象者】 市民 【具体的な活動内容】 ・再生整備活用検討委員会の開催(2回予定) ・海水導水、水質・底質検査、土砂・芝の除去、土砂流入防止のための浚渫などの環境整備事業	国・県補助	[概算コスト] 4,126 (内訳) ・決算額 957 ・人件費 3,169 (0.40人)	[概算コスト] 6,174 (内訳) ・決算額 3,034 ・人件費 3,140 (0.40人)	[概算コスト] 5,948 (内訳) ・決算額 2,838 ・人件費 3,110 (0.40人)	[概算コスト] 6,438 (内訳) ・予算額 3,342 ・人件費 3,096 (0.40人)
48	近代化産業遺産保存事業	文化財課	その他	○事業開始年度 平成19年度 【概要】 「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録を目指した取組が進められており、その他の近代化遺産の評価を行い、保存と活用を行うための情報収集を行う。 また、国内外の専門家による専門診断を踏まえ、鹿児島市内に残る近代化遺産の再評価を行い、貴重な文化財を適切に保護し、観光資源としての活用も図る。 【対象者】 市民 【具体的な活動内容】 ・異人館隣接地購入 ・史跡及び周辺環境整備等(駐車場、トイレ、案内板等)～28年度	国・県補助	[概算コスト] 20,941 (内訳) ・決算額 12,543 ・人件費 8,398 (1.06人)	[概算コスト] 35,964 (内訳) ・決算額 24,034 ・人件費 11,930 (1.52人)	[概算コスト] 27,734 (内訳) ・決算額 15,914 ・人件費 11,820 (1.52人)	[概算コスト] 210,638 (内訳) ・予算額 198,872 ・人件費 11,766 (1.52人)

【評価区分】

A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
 B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
 C: 統合 事業の統合を検討すべき
 D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
 F: 廃止 制度自体を廃止すべき
 G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度			
大会開催回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1	大会参加チーム数 (単位:チーム)	[目標値] 145 [実績値] 162 <達成率> 111.7%	[目標値] 153 [実績値] 165 <達成率> 107.8%	[目標値] 160 [実績値] 177 <達成率> 110.6%	[目標値] 167	A	A	継続 (理由) 子どもの健全育成とスポーツ少年団相互の親睦・連携を深めるとともに、サッカーの競技力向上を図るため、必要な事業である。
整備実施事業数 (単位:件)	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 6	来園者数 (単位:人)	[目標値] 6,000 [実績値] 20,318 <達成率> 338.6%	[目標値] 6,000 [実績値] 6,685 <達成率> 111.4%	[目標値] 4,000 [実績値] 3,847 <達成率> 96.2%	[目標値] 10,000	G	G	終了 (理由) 庭園整備事業は、平成20年度から行ってきたが、整備が順調に行われ26年度で終了する。 ※閉園期間あり
指定及び登録候補文化財の調査対象 (単位:件)	[目標値] 2 [実績値] 5 <達成率> 250.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 5 <達成率> 250.0%	[目標値] 2	文化財の新指定及び登録件数 (単位:件)	[目標値] 1 [実績値] 3 <達成率> 300.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 6 <達成率> 600.0%	[目標値] 1	A	A	継続 (理由) 文化財の保存管理、地域資源の有効活用を図るほか、文化財の調査を進め、優れたものを指定し、保護していくため、必要な事業である。
助成団体数 (単位:団体)	[目標値] 35 [実績値] 33 <達成率> 94.3%	[目標値] 35 [実績値] 35 <達成率> 100.0%	[目標値] 35 [実績値] 33 <達成率> 94.3%	[目標値] 35	登録団体数に対する活動団体数 (単位:団体)	[目標値] 55 [実績値] 41 <達成率> 74.5%	[目標値] 56 [実績値] 42 <達成率> 75.0%	[目標値] 57 [実績値] 43 <達成率> 75.4%	[目標値] 57	A	A	継続 (理由) 郷土芸能の継承、維持のため、必要な事業である。 なお、対象の位置づけなどを再検討すること。
メヒルギの環境改善のための実施事業数 (単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 7	メヒルギの生育環境の改善	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値]	A	A	継続 (理由) メヒルギの生育状況は改善されてきているものの、今後も、環境改善に向け継続的に事業を推進し、本来の自生に近い環境にするため、必要な事業である。 なお、当面は現状を維持する必要があるが、事業効果を見ながら継続の必要性を検討すること。
国の文化財に追加指定した文化財数 (単位:件)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値]	世界文化遺産登録	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	A	A	継続 (理由) ※外部評価シート(26ページ)参照

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						23年度	24年度	25年度	26年度
49	埋蔵文化財保護管理事業	文化財課	調査・研究	<p>○事業開始年度 昭和61年度</p> <p>【概要】 埋蔵文化財についての理解と認識を深め、保護活用を積極的に推進する。</p> <p>【対象者】 市民</p> <p>【具体的な活動内容】 ・埋蔵文化財の保護と開発事業の推進との円滑な調整を図るため、予備調査を実施する。 ・埋蔵文化財の活用等を踏まえた、出土品の適切な保管・管理を行う。</p>	市単	[概算コスト] 21,683 (内訳) ・決算額 15,345 ・人件費 6,338 (0.80人)	[概算コスト] 22,407 (内訳) ・決算額 16,128 ・人件費 6,279 (0.80人)	[概算コスト] 20,129 (内訳) ・決算額 13,908 ・人件費 6,221 (0.80人)	[概算コスト] 27,032 (内訳) ・予算額 20,839 ・人件費 6,193 (0.80人)
50	鹿児島市指定文化財保護事業	文化財課	助成・育成	<p>○事業開始年度 昭和56年度</p> <p>【概要】 多額の経費を要する文化財の保存及び活用に資するため、国・県指定文化財の所有者等に補助金を交付する。</p> <p>【対象者】 国・県指定文化財の所有者・保持団体</p> <p>【具体的な活動内容】 補助対象経費から国・県補助金を除いた額の2分の1以内で補助金を交付する。</p>	市単	[概算コスト] 4,412 (内訳) ・決算額 450 ・人件費 3,962 (0.50人)	[概算コスト] 4,480 (内訳) ・決算額 555 ・人件費 3,925 (0.50人)	[概算コスト] 4,338 (内訳) ・決算額 450 ・人件費 3,888 (0.50人)	[概算コスト] 4,321 (内訳) ・予算額 450 ・人件費 3,871 (0.50人)
51	埋蔵文化財発掘調査事業	文化財課	調査・研究	<p>○事業開始年度</p> <p>【概要】 開発予定地の試掘・確認調査の実施により、記録保存のための発掘調査の基礎資料を得るとともに、緊急発掘調査を実施し、記録保存を行う。</p> <p>【対象者】 埋蔵文化財包蔵地内での開発を行おうとする者</p> <p>【具体的な活動内容】 ・試掘調査の実施 ・確認調査の実施 ・記録保存のための緊急発掘調査の実施</p>	国・県補助	[概算コスト] 117,347 (内訳) ・決算額 93,895 ・人件費 23,452 (2.96人)	[概算コスト] 164,904 (内訳) ・決算額 138,845 ・人件費 26,059 (3.32人)	[概算コスト] 106,138 (内訳) ・決算額 75,967 ・人件費 30,171 (3.88人)	[概算コスト] 89,029 (内訳) ・予算額 68,593 ・人件費 20,436 (2.64人)

【評価区分】

A: 継続 引き続き改善・工夫に努めながら継続する
 B: 見直し 事業の実施方法等を見直す必要がある
 C: 統合 事業の統合を検討すべき
 D: 縮小 事業規模を縮小する必要がある

E: 休止 制度は必要だが、事業を休止すべき
 F: 廃止 制度自体を廃止すべき
 G: 終了 事業の終期に合わせて、終了すべき

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度			
小規模な開発事業に対する予備調査の実施件数 (単位:件)	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 9 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10	埋蔵文化財の保護	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	A	A	継続 (理由) 埋蔵文化財包蔵地における土地開発や民間、個人の土地利用、建物建築等の照会対応、予備調査を適切に実施するとともに、埋蔵文化財保護について周知、広報を進めるため、必要な事業である。
交付対象件数(単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 3 〈達成率〉 75.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	市指定文化財の保護	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	A	A	継続 (理由) 指定文化財を適切に保存、継承していくため、必要な事業である。
緊急発掘調査の実施件数 (単位:件)	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	埋蔵文化財の保護	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	A	A	継続 (理由) 開発予定地の埋蔵文化財を保存するため、必要な事業である。

Ⅲ 参考資料

1 教育委員会の活動状況

(1) 委員選任状況

職名	氏名	職業	在任期間	委員就任年月日
委員長	窪 蘭 修	医師	平 24. 7. 14 ～ 平 28. 7. 13	平 17. 4. 1 3期目
委員長 職務代理者	津 曲 貞 利	会社役員	平 23. 7. 19 ～ 平 27. 7. 18	平 19. 7. 19 2期目
委員	高 島 まり子	大学教授	平 23. 7. 19 ～ 平 27. 7. 18	平 19. 7. 19 2期目
委員	桃 木 野 聡	弁護士	平 26. 6. 30 ～ 平 30. 6. 29	平 22. 6. 30 2期目
教育長	石 踊 政 昭	教育長	平 25. 7. 1 ～ 平 29. 6. 30	平 17. 7. 1 3期目

※ 教育委員（教育長を含む。）の任期は4年

(2) 会議の開催状況（平成25年度実績）

定例会	12回（毎月1回）
臨時会	3回

(3) 審議状況

ア 付議案件数

議案	78件
報告	61件
協議	2件

イ 会議に付された主な案件

- ① 教育委員会規則の改廃の件
- ② 教育委員会事務局等の職員の任免の件
- ③ 教育委員会活動の点検・評価の件
- ④ 市議会に提出する条例改正や予算等の議案についての意見に関する件
- ⑤ 市立高等学校学科別募集定員を定める件
- ⑥ 教科用図書採択の件
- ⑦ 審議会委員の委嘱又は解嘱の件
- ⑧ 社会体育功労者等の表彰の件

(4) 学校訪問等

ア 学校訪問

教育現場の状況を教育委員が直接見聞する機会として、25年度は学校等を3回訪問し、同時に教育委員会定例会を開催している。

(ア) 6月には、中山小学校を訪問し、授業参観、特別支援教育についての学校からの説明、保護者との意見交換の後、同校の多目的室で定例会を開催した。

(イ) 10月には、東昌小学校を訪問し、授業参観、家庭や地域と連携した特色ある教育活動についての学校からの説明、保護者との意見交換の後、東昌校区公民館で定例会を開催した。

(ウ) 1月には、科学館を訪問し、館長による概要説明や館内視察の後、企画展示室で定例会を開催した。

イ 学校長面接

教育委員が個々の学校現場における現状や課題等を認識・理解する機会として、30校の学校長の面接を実施した。

ウ 事務局との意見交換

教育委員が各種施策等の現状について理解を深めるとともに、教育委員の考えを施策等に生かすことを目的に、25年度はPTA、家庭教育学級・講座や食育等をテーマに、事務局との意見交換を12回実施した。

2 鹿児島市教育振興基本計画に掲げた数値目標の達成状況

(1) 道徳心や社会性を養い、心身ともにたくましい子どもを育成する

目標指標	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (目標値)
道徳に関する校内研修の実施率 (%)	小 42.3 中 56.4	小 37.2 中 66.7	小 46.2 中 56.4	小 43.6 中 51.3		小 50 中 70
人権教育に関する校内研修の実施率 (%)	100	100	100	100		100
不登校児童生徒の出現率(%)	小 0.20 中 2.87	小 0.21 中 2.84	小 0.23 中 2.70	小 0.22 中 2.92		小 0.20 中 2.33
心のパートナー登録者数(人)	36	63	76	54		45
講師招へいを伴う体育の校内研修 等回数(回)	26	27	30	36		30
小児生活習慣病予防検診の受診率 (%)	51	50	48	43		60
学校給食への地場産物の活用率 (%)	61	60	66	66		65
あいご講座の参加者数(人)	4,350	4,042	3,861	4,583		4,000
1か月の読書量(冊)	小 19.6 中 5.9	小 20.8 中 6.4	小 22.3 中 6.7	小 25.7 中 6.9		小 19 中 6

(2) 「確かな学力」を持ち、個性あられる子どもを育成する

目標指標	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (目標値)
幼・小連携研修会への指導主事の派遣率(%)	40	90	95	76		75
学習の手引の作成率(%)	小 97.4 中 84.6	小 97.4 中 94.9	小 98.7 中 94.9	小 97.4 中 100		100
市立高校生の就職率(%)	100	100	100	100		100
ガイド学習の手引の作成率(%)	80	89	91	92		100
特別支援教育に係る個別の指導計画の作成率(%)	94	92	93	92		100
特別支援教育に係る個別の教育支援計画の作成率(%)	66	78	80	84		100
教育の情報化に係る校内研修の実施率(%)	100	100	100	100		100
郷土教育に係る体験活動の実施率(%)	小 100 中 94.9	100	100	100		100
ALTの活用時数(時間)	16.7	18.7	19.8	20.3		25
環境教育に係る体験活動の実施率(%)	小 100 中 89.7	100	100	100		100
消費者教育に係る全体指導計画の作成率(%)	81.2	100	100	100		100

(3) 信頼される開かれた学校教育を推進する

目標指標	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (目標値)
学校経営に係るランドデザイン作成率(%)	100	100	100	100		100
授業の実施率(%) (教育課程の完全実施)	100	100	100	100		100
学校関係者評価結果の公表率(%)	97	98	100	100		100
校内研修への指導主事等の派遣回数(回)	小 349 中 127	小 458 中 206	小 491 中 215	小 483 中 248		小 350 中 150
AED取扱を含めた心肺蘇生法講習会受講率(%)	72.2	70.0	74.2	86.8		60
学校施設の耐震化率(%)	小中 98.6 高 97.1	100	100	100		100
学校支援ボランティア事業の実施率(%)	35.9	46.2	52.1	59.8		100
教育委員会委員と事務局との意見交換の割合(%)	14.3	42.9	71.4	80		100
学校規模に係る保護者や地域住民等の意向の把握(回)	—	—	—	—		1

(4) 家庭や地域の教育力を高め、社会全体で人づくりを進める

目標指標	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (目標値)
家庭教育学級実施校数(校)	117	117	117	117		117
学校支援ボランティア数(人)	4,063	5,058	6,277	6,774		6,000
校区公民館年間平均利用者数(人)	3,859	3,797	3,828	3,773		4,000
青色回転灯パトロール出動回数(回)	671	807	803	972		650
携帯電話フィルタリング利用率(%)	小 35.3 中 51.1	小 44.0 中 55.3	小 53.9 中 53.5	小 53.2 中 52.2		小 90 中 90

(5) スポーツや文化の振興を図るとともに、だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくりに努める

目標指標	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7 (目標値)
成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)	39.4 (H21)	—	38.0 (H23)	—		50
県民体育大会競技種目の優勝種目割合(%)	38.4	46.1	51.3	53.8		50
市民文化祭等への参加者数(人)	35,690	36,708	38,429	42,560		40,000
市内の文化財の指定等件数(件)	179	182	182	187		190
市民1人当たりの生涯学習プラザと地域公民館の利用状況(回)	2.6	2.6	2.2	2.3		2.7

教育委員会活動の自己点検・評価実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が事務の管理及び執行の状況について自ら実施する点検及び評価に関し、必要な事項を定めるものとする。

(評価の基本的なあり方)

第2条 教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、的確にその施策効果を把握し、その目的又は目標に照らして、必要性、有効性、効率性、公平性の観点その他当該施策の特性に応じて必要な観点から点検及び評価を行い、その評価の結果を当該施策に適切に反映させるものとする。

2 教育委員会は、前項の規定に基づく点検及び評価の実施に当たっては、客観的な実施の確保を図るため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用する。

3 前項に規定する学識経験を有する者の知見の活用を図るため、教育行政評価会議を設置するものとし、必要な事項は別に定める。

(評価の基本的な事項)

第3条 教育委員会は、点検及び評価の実施に当たり、次に掲げる事項を協議し決定する。

- (1) 点検及び評価の対象に関すること。
- (2) 点検及び評価の実施方法に関すること。
- (3) 点検及び評価の対応方針等の決定(以下「結果」という。)に関すること。
- (4) 点検及び評価の結果の施策への反映に関すること。
- (5) 点検及び評価の結果の公表に関すること。
- (6) その他点検及び評価の実施に関し必要なこと。

(報告書の作成及び公表)

第4条 教育委員会は、点検及び評価を行ったときは、その結果に関する報告書を作成するものとする。

2 教育委員会は、前項の規定により作成した報告書を市議会に提出するとともに、公表するものとする。

(市民の意見及びその反映等)

第5条 教育委員会は、公表した報告書について市民から意見があった場合には、施策又は点検及び評価に適切に反映させるように努めるものとする。

(点検及び評価の改善の検討)

第6条 教育委員会は、毎年度、点検及び評価のあり方について検証を行い、その課題を把握し、鹿児島市の行政評価の動向も参考としながら、その改善について検討を行う。

(委任)

第7条 この要綱に規定するもののほか、点検及び評価の実施に関し必要な事項は、別に定める。

付 則

この要綱は、平成20年5月22日から施行する。

教育行政評価会議設置要領

(趣旨)

第1条 教育委員会活動の自己点検・評価実施要綱(平成20年5月22日制定)第2条第3項に規定する教育行政評価会議(以下「評価会議」という。)に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 評価会議は、教育委員会の求めに応じて、次の各号に掲げる事項について意見を述べるものとする。

- (1) 教育委員会の点検及び評価の方法に関すること。
- (2) 教育委員会の担当課が実施した点検及び評価の一次評価に関すること。
- (3) その他教育委員会の点検及び評価に関し必要と認めること。

(組織)

第3条 評価会議は、5名以内の委員で組織する。

- 2 委員は、教育に関し識見を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。
- 3 評価会議に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年以内とする。ただし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

(会長の職務)

第5条 会長は、評価会議の会務を総理し、評価会議を代表する。

- 2 会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、会長が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 会長は、会議の議長となり、議事を整理する。
- 4 会長は、必要があると認めたときは、関係職員その他会長が適当と認める者を会議に出席させ、関係事項について説明させ、又は意見を述べさせることができる。

(庶務)

第7条 評価会議の庶務は、教育委員会事務局管理部総務課において処理する。

(委任)

第8条 この要領に規定するもののほか、評価会議の運営に関し必要な事項は、別に定める。

付 則

この要領は、平成20年5月22日から施行する。

付 則

この要領は、平成26年6月3日から施行する。